

明治安田生命保険相互会社における租税に関する研修会

平成 27 年 10 月 20 日（火）明治安田生命保険にて新人の方々を対象にして租税教育セミナーが行われました。

70 人ほどの方々に 1 時間、税金の概要から特に保険に関することまで明日の保険レディーの役に立つようなことを織り交ぜながら講義が行われました。

講義と言ってもフロアの真ん中で 360 度観客という「ちょっとこれはやりにくいなあ」と講師の大川先生を眺めながら講演が始まりました。するとどうでしょう。新人社員の皆さんは終始真剣な表情でうなずきながら聴講しています。「よくお客さんに背を向けても集中を途切れさせることなく、まんべんなく聴衆に向かって話すことが出来るなあ」と感心しました。

セミナーの基本は名古屋税理士会のパワーポイントを利用しつつ独自のわかりやすい説明を折り混ぜ、ゆっくりと話をしていきます。講師の話す言葉を、配付資料に一生懸命書き込んでいる様子に、新しいスキルを貪欲に取得し活かしていきたいという企業戦士の覇気を感じました。それを裏付けるかのように 360 度講演場所には、目標達成などの文字が踊り、数々の勤務奨励策が目に入ります。私としましても明日につなげる実のある社会人ならではの真剣な租税教育への取り組みの重要性を感じております。ですが、いざ自分がこんなに流暢に話せるのだろうか？さっぱり出来そうにありません。教室でちょっと話すという意味の深さに今更ながらに畏怖の念を抱きます。

保険会社での租税セミナーですから、当然保険料控除の取扱については言わずもがなではあります。しかしながら、税理士が実務で生命保険と向き合ったときの実務経験を活かした話をし始めると特に集中して聞いていたと感じました。緩急を付けて税金の四方山話として世界の税制や消費税の話、マイナンバーの話など多岐にわたって租税の仕組みを話し最後に少し税理士の仕事について話をして終わりました。

最後は質問がいくつか出て、「へえそうなんだ」と、恥ずかしながら私も感じておりました。その後、アンケートの回収が行われ、内容を見たところみんなびっしりと自分の税務に関する為になったことや、今後のためにどう活かしていくのかといった内容を書いて、「さすが社会人は違うなあ」と思わずうなっていました。

今後も租税教育を通して社会人との真剣な繋がりを強化し、社会での税理士地位向上をはかっていくことに私も微力ながら頑張ろうと思いました。

租税教育推進部

部員 森 幸治（名古屋中支部所属）